

飲水思源

町長 松岡市郎

「コンピュタータイプ」からの脱出

20世紀は人間力、有機質の時代、21世紀はコンピュター力、無機質な時代と思うことがある。この21世紀、必要不可欠になっているものがコンピュター情報と事務処理である。今から50年ほど前、情報が誰でも、どこでも、好きな時に入手できるなどとは想像もなかったし、コンピュターが受け付けられないから駄目などと断られることはなかった。ところが今は、コンピュターの判断基準に左右される時代である。その判断基準は人間が定めるものではないが…。

コンピュター化は便利な面もあるが、半面、受益者はコンピュターへ入力された内容でサービスを受けることを求められる。会話が存在すれば何とかなるようなことであっても、一定の入力条件を満たさないものはすべてはじき出され、拒否されてしまう。「何とかお願いします」と担当者へ依頼しても、「コンピュターでの処理ですから不可能です」との無機質な回答が多い。それまでは「分かりました」

と人間味ある有機質的な対応ができたものであっても、である。柔軟な発想が効かない堅物を『ステレオタイプ』と表現していたが、人間である私たちの考え方や対応までもがコンピュター化し、『コンピュタータイプ』となっているのでは、と思うことがある。人間味のある対応が希薄になりつつあり、原則論で処理してしまう傾向のことである。基本は原則を遵守し尊重ながらも、周辺環境も考え実情に適切に順応することが大切であると考えている。

行政が展開する事務は、住民福祉の向上にあることは論を待たない。一つの問題解決に当たって、原則を尊重しながらも、局所的判断ではなく全体を見て周辺環境を考え、「周囲良し」「住民良し」「行政良し」の対応を怠ってはならない。コンピュター化する発想ではなく、より大切なことは人間愛のある行政を守り、進化させていくことであると思う。

小さな幸せ46こ (一般書)

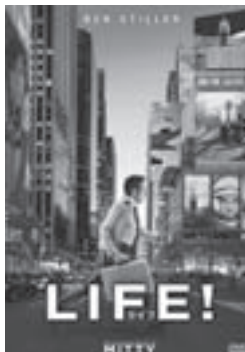
よしもとばなな：著 中央公論新社：刊



小さな幸せは、たくさん集っても決して大きな幸せにはならない。でも、ふっと人を救ったり、よく眠らせたり、他の人に感染したりする。それが最終的には、たまたまそこにあった網みたいに、落ちていく本人を救うことがある。その程度ではあるけれど、その存在がすごくいい。最悪の思い出が時間をかけたら最高に変わる。何気ない日常にある“幸福論”的エッセイ。

LIFE! ライフ (映画、DVD)

20世紀フォックス ホーム エンタテインメント ジャパン：発売元



「LIFE」誌の写真管理部に勤めるウォルター。何ひとつ代わり映えない日々を繰り返している彼の唯一の趣味は、現実から逃避して、突飛な空想に浸ること。ある日、ウォルターは最終号の表紙を飾る大切な写真のネガがないことに気付いた。一大決心をしてカメラマンを探す旅に出発することに。そのあり得ないほど波乱万丈の冒険の道のりは、彼の人生を一変させていくのだった。(115分)

貸し出し図書 ビデオ紹介

文化交流館
☎82-4245

★本、DVDの蔵書リクエストをお受けしています★
1人5冊まで14日間、ビデオは1人2本まで4日間

貸し出し検索

<http://www.lib-finder2.net/higashikawa/servlet/Index>



2分の1成人式 (児童書)

井上 林子：著 講談社：刊



勉強も、習いごとのスイミングも、あまり得意じゃない小学4年生のユメ。ある時、学校で「2分の1成人式文集ノート」が配られた。「未来の予定表」「将来の夢」「二十歳の自分へ」なんて何を書いたらいいんだろう？ 二十歳の自分なんて想像できないよ。こまったユメは、お母さんがいなくて自分史をうめられないのぞみくんの手つだいをすることに。